

令和 7 年 10 月 20 日

調 査 研 修 報 告 書 (議員用)

報告者： 宇山 茂之

実施場所：リファレンス西新宿大京ビル	実施日：令和 7 年 10 月 6 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 令和 7 年 10 月 6 日、東京都で開催された地方議員研究会主催の新人議員研修に参加しました。本研修では、地方議員としての使命や役割を多角的に学ぶ機会となり、特に 7 つのテーマについて理解を深めた。	
■参考とすべき事項 以下、7 つのテーマについて報告いたします。 1. あなたは何のために議員になったのか 議員としての原点を振り返り、地域の発展と住民福祉の向上に寄与するという目的を再確認した。初心を忘れず、信頼される議員であり続けることの重要性を感じた。 2. 自己認識、議員の役割と責任 議員は行政を監視し、住民の意見を政策に反映させる責任を持つことを学んだ。また、公正で透明な姿勢を保ち、常に住民の立場に立った判断が求められることを実感した。 3. 課題の発見と仮説の提案 現場を歩き、住民の声を直接聞くことで課題を見つけ出し、課題解決に向けた仮説を立てる力の必要性を学んだ。データや根拠に基づいた提案が政策の実効性を高めることを理解した。 4. 財政制度と予算の理解 自治体財政の仕組みや予算編成の流れを学び、限られた財源の中で効果的な施策を実現するためには、数字を読み解く力と財政全体を俯瞰する視点が不可欠であると感じた。 5. 執行部を知る 議会と執行部の関係を理解し、対立ではなく建設的な協働を目指す姿勢が重要であることを学んだ。相互理解の上に立つことで、より良い政策実現が可能になると感じた。 6. 議員が本来的にすべきこと 議員は単なる意見発信者ではなく、地域課題を整理し、解決への道筋を示す政策提案者であることを再確認した。住民の声を政策へつなぐ架け橋としての役割を果たしたい。 7. 効果的な一般質問の必須条件、質疑や質問の組み立て方 質問の目的を明確にし、事前調査と論理的構成によって、効果的に課題を提示する方法を学んだ。執行部との対話を通じて、政策改善につながる質疑を心がけていきたい。 以上の学びを通じ、議員としての基本姿勢と実務能力の両面で多くの示唆を得ることができた。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） これらの学びを踏まえ、わが市の現状を的確に把握し、地域住民が安心して暮らせ環境づくりに努めていく。特に、高齢者福祉、子育て支援、防災・減災対策、地域経済の活性化などの分野で、現場の声を反映した政策提案を行っていきたい。今後も、誠実な議員活動を通じて、住民に信頼される議会運営に貢献していく所存である。	